

環境学委員会 都市と自然と環境分科会 第24期第1回分科会議事録

日時： 平成30年1月9日（火） 13:00~15:00

会場： 日本学術会議6階 6-A(1)会議室

議題： 1. 委員長選出
2. 第24期の活動方針の検討（資料1）
3. 第23期からの引き継ぎ事項について（資料2）
4. 特任連携会員の推薦について
5. 今後のスケジュール
6. その他

出席者： 石川幹子委員，高村ゆかり委員，高橋佳子委員，池田俊介委員，池邊このみ委員，大久保規子委員，大塚直委員，桑野園子委員，小森大輔委員，近藤昭彦委員，村上暁信委員

欠席者： 大久保規子委員，平澤毅委員，増田聡委員，横張真委員

議事要旨

1. 委員長選出

- 世話人の石川幹子委員から委員長選出に関して発議があり，議論の結果，石川委員に委員長をお願いすることが提案され，承認された。
- 石川委員長から副委員長に村上暁信委員，幹事に池邊このみ委員が指名され，承認された。

2. 第24期の活動方針の検討（資料1）

- 石川幹子委員長から，昨今の日本の社会状況を踏まえて第24期の「都市と自然と環境分科会」の活動方針について問題提起がなされた。特に，国土・地域計画上で話題となっている「グリーンインフラ」に関する近年の議論とその問題点について紹介された。
- 各委員から自己紹介とともに，グリーンインフラに対する期待が紹介された。
- 石川委員長から，グリーンインフラに関する昨今の議論の趨勢と同時に，本来グリーンインフラに関して議論すべき課題に関して説明がされた。
- 今後の具体的な進め方について議論がなされ，以下のような意見が出された。
 - ・ 国土交通省などから話を聞いた上で，早めにシンポジウムを開催し，情報を発信していきたい。
 - ・ グリーンインフラに関する議論は，環境学委員会が設置された当時に似ている。対象を体系化しようとする，難しくなり進まなくなる。秋頃まではまず

色々な関係者から話を聞き、体系化ではなくグリーンインフラに関する議論の方向性を定めていくのがいいのではないか。

- 様々な地域で既に関連する取り組みがなされているのではないか。それらを一度きちんと聞いてみる必要があるのではないか。
 - スピード感をもって進めるという点に賛成である。その方が政策へのインプットが図れると思う。
 - グリーンインフラに関して詳細を知らないため、まずは話を聞いてみたい。
 - グリーンインフラに関して、日本が世界のトレンドから遅れているという状況であるならば、その現況を踏まえた上で今後どのように展開を模索していくべきか、次に繋げられるかを考えていきたい。
 - 事例を集めて検討を進めていくことが必要ではないか。地球温暖化問題に関して、国土形成計画分野では緩和策の議論ばかりで適応策の観点から議論がされていないように感じている。立地適正化も人口減少との関係から議論されるのはいいが、適応策との関係が一切無いのは問題だと思っている。今後、本課題に関して国土交通省から話をじっくり聞いてみたい。
 - 分科会では、外部に話題提供を依頼した際にも議論を激しく戦わせるような機会とすべきではないか。
 - 土地の性質に関する理解が計画分野で十分に浸透していない、ということが大きな問題ではないか。
 - 大都市では各種の整備が進み、内水氾濫が起こる可能性は低くなっている。その一方で、仙台市など大都市ではないところで今後起こっていく可能性がある。そういった違いを念頭に置きつつ、中小都市も対象に含めながら議論していきたい。
 - 事例研究を踏まえて議論を深めていきたい。
 - 環境学委員会の他分科会にも声をかけて適宜一緒に議論できるといいのではないか。
- 以上の議論を踏まえて、次回は国土管理という視点で、国土交通省、池田委員、小森委員、近藤委員から話題提供をしてもらって議論を始めていくことが確認された。
- 国交省では都市局ではなく、総合政策局環境政策課に取りまとめてもらう予定。
 - 国交省の話題提供（20 分程度）、「気候変動適応策とグリーンインフラの可能性」（池田委員、15 分程度）、「都市型災害多発地域における新しい基盤整備の可能性」（小森委員、15 分程度）、「里山グリーンインフラの可能性」（近藤委員、15 分程度）とする。

3. 第 23 期からの引き継ぎ事項について

- 石川委員長から第 23 期での議論の経緯とその後の展開が紹介された。立体公園制度を使って 2 階部分に川を人工的に流すという当初案に対して、前期分科会で提言を取りまとめたこと、提言によって立体公園制度を適用せず、川は地上を流れるように変更されたことが紹介された。
- 前期分科会による提言のインパクトレポートの案として資料 2 が説明され、審議の結果承認された。

4. 特任連携会員の推薦について

- 石川委員長から、特任連携会員として山田正・中央大学教授、濱野周泰・東京農業大学教授の 2 名の推薦があり、検討の結果、承認された。

5. 今後のスケジュール

- 次回は 3 月、次々回は 6 月に開催し、秋にはシンポジウムを開催する。
- グリーンインフラの基礎情報に関しては、次回石川委員長から委員に提供することとされた。

6. その他

- 池田委員からオブザーバーの同席可否について問い合わせがなされ、次回からオブザーバーの本分科会参加を認めることが確認された。